成果連動型
前期高齢者健康づくり保健事業

肥後銀行健康保険組合の健康課題と解決方策

肥後銀行健保組合の健康課題

前期高齢者納付金が年々増加
血糖リスクが高い
運動習慣が少ない

一歩踏み込んだ取り組みで成果を高めることが可能

これまでの取り組み

①保健指導参加拒否者への人間ドック補助見直し
②６０～６４歳被保険者への納付金等普及啓発

地方銀行健保に共通している課題

要因①

広域にまたがる居住地ゆえの保健指導へのアクセス悪

要因②

前期高齢者の健康意識向上へのアプローチが困難

解決方策１

前期高齢者の保健指導へのアクセスを向上

解決方策２

HbA1c7%未満を維持する保健指導プログラム

解決方策３

前期高齢者納付金を短期・中期で適正化

オンライン及び訪問健康支援を活用して、前期高齢者の保健指導のアクセスを向上させ、これまでの取り組みとのシナジー効果を発揮。前期高齢者納付金の適正化を図る。

成果連動型
前期高齢者健康づくり保健事業

課題解決を志向した保健指導プログラム概要

地銀健保特有課題

前期高齢者納付金増の背景要因

- 広域にまたがる居住地ゆえの保健指導へのアクセス悪
- 前期高齢者の健康意識向上へのアプローチが困難

健保

対象者抽出

対象：64~73歳
（R3.4.1時点）

- R2年度 特定健診・保健指導未実施者
- R2年度 HbA1c 6.5%以上
- R2年度 重複・頻回受診者 重複・多剤投薬者

セグメント化 多様なアプローチ

事業者

参加勧奨

- 郵送通知（ナッジ理論）
- メール通知（ナッジ理論）
- 電話勧奨

選択プログラム アクセス向上

事業者

保健指導

月1回×6か月

- 訪問 健康支援
- オンライン 保健指導
- 職場 保健指導（対面・オンライン）

結果を出す 保健指導

健保

成果連動型 効果測定

- 保健指導プログラム修了率
- 生活習慣改善度
- 良好な血糖コントロール
- 医療費適正化

オンライン保健指導 URL・QRコード

3か月に1回のHbA1c測定でHbA1c7%未満を維持する

健保 事業者

【検討会議開催】成果連動型による事業実施上の課題抽出および解決方策の検討

地方銀行健保 保健事業モデルの構築

健保組合と民間事業者が協働・役割分担して、成果連動型保健指導プログラムを実施。
地方銀行健保特有の課題を解決し、全国の地方銀行健保保健事業モデルの構築を図る。

肥後銀行健康保険組合